

測量器具(小計 4件8点)

通No.	No.	枝No.	名称	年代	材質	数量	法量(縦×横, cm)	付属品	備考	県文No.
1	1	1	ジクシンジシャクバン 軸心磁石盤	江戸後期	木、金属	1	32.4×37.0×高5.0(持手込22.5)	木箱。磁石の替え針2本	石黒信由考案。360度目盛り。大小2個の磁石。持ち手付き。蓋表墨書「磁石」	1-1
2		2	ゴンドウシキジシャクダイ 強盗式磁石台	江戸後期	木、金属	1	高68.0(磁石盤込89.5、勾配板込93.0)×幅41.5×奥行34.7		石黒信由考案。強盗式(常に水平も保つ)	1-2
3		3	接続具	江戸後期	木	1	高14.8×幅8.4×奥行8.7	楔2本	軸心磁石盤と勾配板との接続用	7
4	2		コウバイバン 勾配板	江戸後期	木	1	32.2×36.3×厚1.9		裏墨書「鉤配板」。上部に金具付き。糸と錘は後補	2
5	3	1	メアテザオ 目当棹	江戸後期	木、金属	1	長270.5×径3.1		先は槍状	3-1
6		2	目当棹	江戸後期	木、金属	1	長265.5×径3.4(鞞13.5)	鞞	先は槍状	3-2
7		3	目当棹	江戸後期	木、金属	1	長243.0×径3.4		先は槍状	3-3
8	4		ソクリョウヨウハク 測量用旗	江戸後期	木、布	1	51.7×48.2、軸長53.2		橙色	4

製図用具(小計 12件60点)

9	5	1	カツエンド 割円度	天保8年(1837)	木、金属	1	径31.3×厚0.6		目盛り付き。墨書「天保八年六月製 割円度 中村義方」。中村(1824-93)は和算家。但馬出石藩士。白石長忠、福田理軒に学ぶ。私塾を東京芝に開く。明治16年雑誌「珠算学びの友」を発行。通称は幸蔵、幸助。号は赫々堂。著作に「新撰仕方塵劫記」「年賦捷解」など	5-1
10		2	割円度比例表 ヒレイ、ヒョウ		木	1	18.3×4.5×厚0.6		目盛り付き。墨書「割円度比例表」。割円度と一対	5-2
11		3	割円度游表 ユウヒョウ		木	2	20.3×12.0×厚0.4、 11.9×8.9×厚0.6		目盛り付き。墨書「割円度游表 川合用」。川合は砺波郡戸出の十村(大庄屋)か	5-3
12	6		定規		木	1	8.7×38.5×厚さ1.3		墨書「清都露翠」。「露翠」は清都家19代彦四郎	6
13	7	1	シワリ シ(カミ) 地割紙		紙	1	20.9×20.8		絵図面上で使う分度器。定木、根発と共に用いて、測点間の方位と距離をもとに作図する	9-1
14		2	地割紙		紙	1	25.2×24.2			9-2
15		3	地割紙		紙	1	33.1×31.5			9-3
16		4	地割紙	天保11年(1840)5月	紙	1	34.9×31.0		表面墨書「天保十一庚子年五月」、裏面墨書「三百六十度地割」	9-4
17		5	地割紙		紙	1	27.3×27.1			9-5
18		6	地割紙(案)		紙	1	31.8×32.3			9-6
19		7	地割紙(案)		紙	1	32.2×32.5			9-7
20		1	伸縮紙		紙	1	15.0×15.0		地図の拡大・縮小用。墨書「三寸三分三厘四」	9-8
21		2	伸縮紙		紙	1	18.1×18.2		四寸。2.0cm四方の方眼線あり	9-9
22		3	伸縮紙		紙	1	17.1×17.1		四寸五分。2.2cm四方の方眼線あり	9-10

1-99-3-1 測量・製図器具

23	8	4	伸縮紙		紙	1	21.0×21.0		五寸	9-11	
24		5	伸縮紙		紙	1	27.1×27.0		七寸	9-12	
25		6	伸縮紙		紙	1	30.1×29.9		八寸	9-13	
26		7	伸縮紙		紙	1	30.9×30.8		九寸。4.5cm四方の方眼線あり	9-14	
27		8	菊文型紙		紙	1	31.6×29.3			9-15	
28		9	袋(地割紙・伸縮紙)		紙	1	36.0×26.0		墨書「測量方地割紙并伸縮紙入」	9-16	
28		9	1	曲尺(大)		木	1	35.4×35.4	箱、游表		10
29			2	曲尺(小)		木	1	37.5×19.2			11
30	10		定木		木	2	69.6×9.9×厚1.0	箱	箱墨書「定木／清都氏」	12	
31	11		直尺		木	1	32.7×4.7			13	
32	12		金属製変型尺		金属	1	5.8×8.1			14	
33			金属製曲尺		黄銅	1	9.0×4.9			15	
34			金属製曲尺		黄銅	1	16.0×8.4			16	
35	13		ニハシ 渾発		金属	1	長19.5×幅3.2		彫金あり。根発・規・円規・ぶん回しとも	17	
36			渾発		金属	1	長18.7×幅0.5			18	
37			渾発状器具		金属	1	長25.4×幅7.2、短針15.7			19	
38	14		算盤		木	1	縦10.2×長71.6×厚さ3.1(蓋込4.4)	塗箱(蓋片側の妻部欠損)、袋		20	
39	15		矢立		金属	1	長35.8×幅4.3×高5.6			21	
40	16	1	筆入れ		葛、紙	1	長30.5×幅10.8×高4.7		16-1～9は筆記用具	22-1	
41		2	用界		木、竹、金属	6	長①21.7、②21.0、③16.6、④14.7、⑤9.3、⑥7.0		用界は地図に押し線(白系)を引く用具。①金具付、②竹製、③竹製、3面に黒漆塗、④竹製、⑤2面に墨書「横」、⑥墨書「高」、「口」	22-2	
42		3	烏口		金属	1	長6.0×径0.8			22-3	
43		4	箆		木	3	長19.1、16.4、10.4			22-4	
44		5	鉄筆		鉄	1	長16.5		旧名「箆」	22-5	
45		6	筆		木、毛	8	穂無:17.2、16.6、15.6、14.7 穂有:18.3、17.0、16.6、15.7			22-6	
46		7	木片		木、金属	1	長さ11.8×幅1.5×厚さ0.5		先端に金具付き。旧名「筆」	22-7	
47		8	製図道具		木	2	長さ8.8×幅2.7×厚さ0.5、 長さ6.7×幅2.7×厚さ0.5		長い板に墨書「清都用」。旧名「木板」	22-8	
48		9	印など		鉱石、金属	3	金属:長さ2.8×幅1.1×高さ1.6、太:長さ5.1×径1.6、 細:長さ5.2×径0.7		金属印。太い石は印材用か(または用界か)。細かい石は用界か(両端に使用痕あり)。旧名「白墨」	22-9	

小計 16件 68点